

【弱溶剤 柔軟・透湿タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料

ダイヤモンドスーパーセラソフィア *Sophia*
Super Ceram

【弱溶剤 柔軟・透湿タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料

ダイヤモンドスーパーセラソフィア

Sophia
Super Ceram

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは
日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社
としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせは
ホームページのお問い合わせフォームよりお願い申し上げます。
<https://jpn.sika.com/ja/system/contact-us.html#construction>



(’25.7月現在) 25.07.1.500 SJ

シーカ・ジャパン株式会社

東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F TEL. 03-6434-7291

BUILDING TRUST



BUILDING TRUST



超耐候・超低汚染型変性無機塗料

ダイヤモンドスーパーセラシリーズの進化

実績に裏付けられた信頼

無機塗料が進化を遂げるまでには長い努力の道のりがありました。

土木分野

無機塗料の出発点——

不燃・超耐候・超低汚染 無機塗料
「ダイヤモンドセラゼックス」発売 2024年廃止

1995年発売以来様々な実績



ハツ山アンダー

1995年



トンネル

建築分野

建築用として柔軟性を付加
有機成分をハイブリッド

【強溶剤タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料
「ダイヤモンドスーパーセラ」発売 環境配慮型に移行のため2023年に廃止



千葉マリスタジアム (ZOZOマリスタジアム) 2014年撮影

2002年



Before



After

Sophia
Super Ceram

【弱溶剤 柔軟・透湿タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料
ダイヤモンドスーパーセラソフィア 発売

柔軟性を加えたことで多様化

2019年



鈴木不動産ビル

2004年

建築用としてさらなる作業性の進化

【弱溶剤タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料
「ダイヤモンドスーパーセラマイルド」発売



M邸

省エネ 環境対応形

【弱溶剤・遮熱タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料
「ダイヤモンドスーパーセラマイルドIR」発売



新緑ビル

2006年

環境配慮型に

【水性タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料
「ダイヤモンドスーパーセラアクア」発売



アトリエフィロンドール

2017年

戸建住宅改修用として進化

【水性 柔軟・透湿タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料
「ダイヤモンドスーパーセラフレックス」発売

ダイヤスーパーセラソフィアの新技术

サイディングやALCパネルが多い戸建住宅の改修にはさらなる柔軟性が求められます。
「スーパーセラソフィア」はスーパーセラシリーズにさらに柔軟性を与えました。

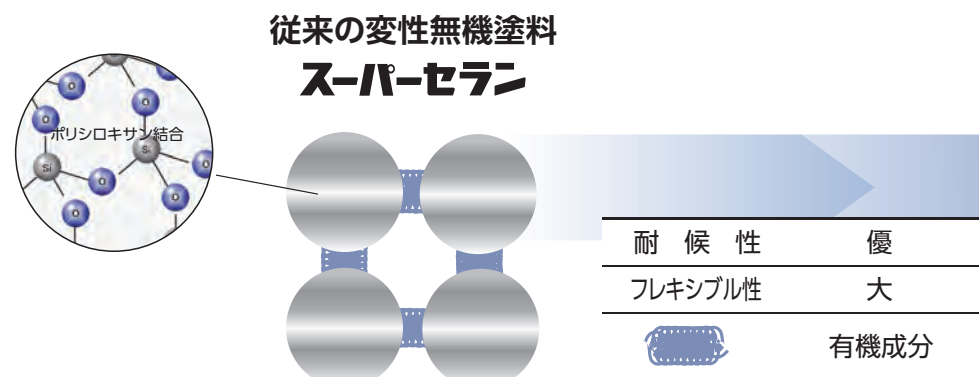
従来のスーパーセラシリーズ

有機成分で無機の短所をカバーすることにより無機の特長を最大限発揮させることに成功しました。

無 機	ダイヤスーパーセラシリーズの特性	有 機
発色不良、色がくすむ	鮮やかな色の調色が可能	鮮やかな色も出せる
硬い	下地に対応できる柔軟性とガラス並みの硬度	柔らかく、割れにくい
劣化しにくい	紫外線に強く従来のフッ素樹脂塗料よりも耐候性に優れる	劣化しやすい
汚れにくい	汚れにくく、長期間美しさを維持する	汚れやすい
燃えない	燃えにくい	燃えやすい

従来のスーパーセラの仕組み

土木分野で培った技術を生かし生み出された塗料

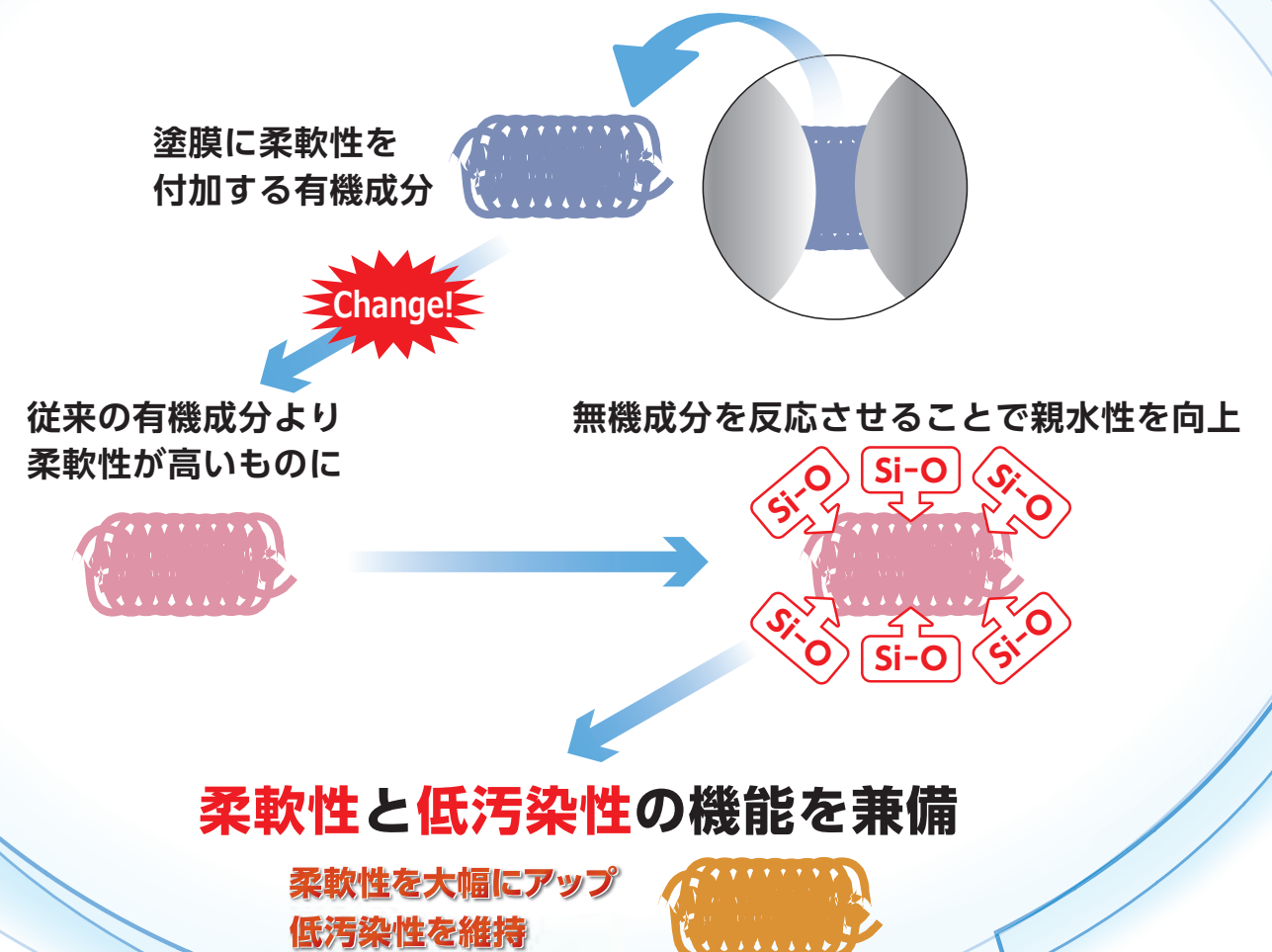


※無機塗料とは ポリシロキサンに代表される無機質ポリマーをバインダーとする塗料

フレキシブル性を
大幅に
UP!

さらなる
柔軟性樹脂を
使いたい!

柔軟性を大幅にアップさせ
低汚染性を維持することに成功しました



変性無機塗料
スーパーセラソフィア

耐 候 性	優
フレキシブル性	さらに大
	有機成分

ダイヤスーパーセラソフィア 特長

様々な特長により塗替え時の美しさを永く保ちます。

特長 1

超耐候性

変性無機塗料の持つ最大の特長、フッ素樹脂塗料をしのぐ耐候性が建物の美観を長期にわたり維持し、保護します。

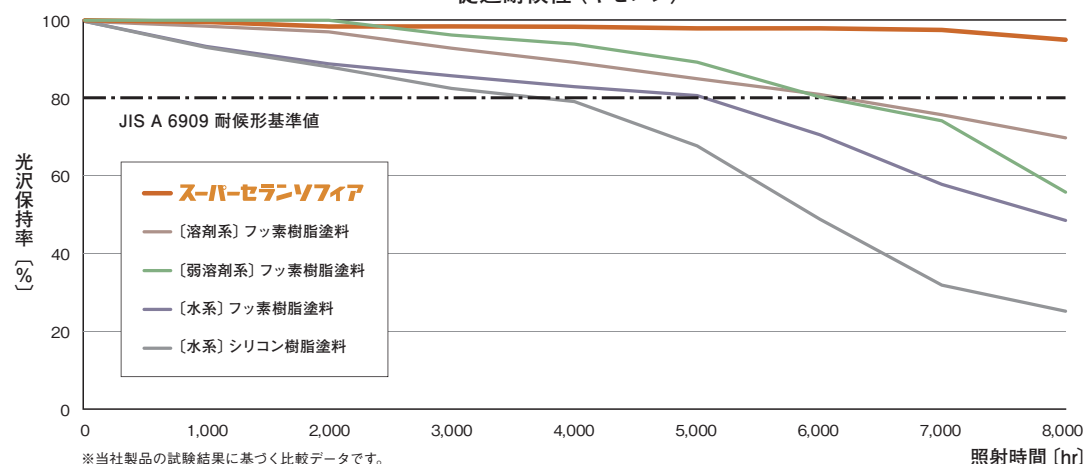
蓄熱性の高い部材は塗料の劣化を早めますので特に耐候性の高い塗料を推奨します。
耐候性の高い塗料は、塗料が持つ様々な機能の低下を抑制します。

Point!

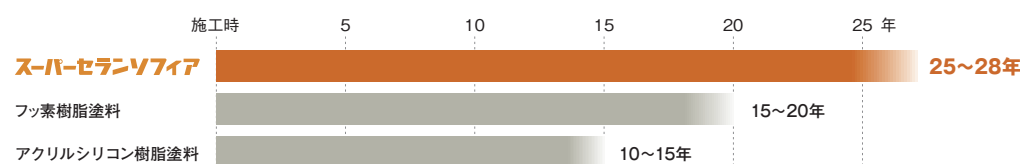
窯業系サイディングやALCパネルなどの蓄熱性の高い部材を用いた建物の塗替えに最適です。

キセノンウェザーメーター 促進耐候性試験

促進耐候性 (キセノン)



期待耐用年数



【期待耐用年数について】

塗膜は紫外線や熱、風雨等の劣化因子により段階的に性能が低下していきます。一般的には、汚れや変退色に始まり、その後、表面劣化が進行し、チョーキング（白亜化）が発生、さらに進行するとひび割れや剥離等が発生します。期待耐用年数は、標準的な環境（地域や部位、部材の条件を除く）において、塗膜の持つ下地保護機能が低下する時点までの期間（次回の改修を行うに至るまでの標準的な年数）の目安として設定しております。よって、気象条件の厳しい地域や、天端や斜壁などの部位、蓄熱性の高いボード類など環境条件の厳しい面に施工された塗膜は目安とされた期待耐用年数よりは早期の劣化が予測されます。

当社は期待耐用年数を設定するにあたり、JISに定める規格値 光沢保持率80%を参考にはしておりますが、その基準が下地保護機能が低下する時点とは考えておりません。実際の建物では、チョーキングが進行しひび割れや剥離が広範囲に発生する手前が下地保護機能の低下時点と考えられております。当社は促進試験データによる塗膜劣化の傾向と実曝におけるそれ以外の劣化因子を考慮して、蓄積されたデータより保護機能の低下時点を推測し、期待耐用年数を設定しております。

特長 2

柔軟性

柔軟性に優れた塗膜によりシーリング上に施工した場合のひび割れリスクを軽減します。

柔らかいシーリングの上に塗られた塗膜は下地の動きによりひび割れが発生しやすい状況にあります。

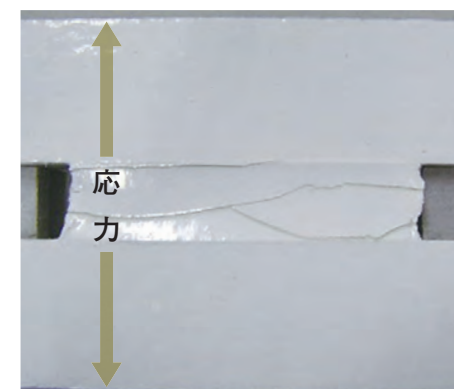
ダイヤスーパーセラソフィアはダイヤスーパーダンセイ (JIS A 6021 建築用塗膜防水材) の上塗材として適用できるほど、柔軟性に優れた塗膜が特長です。

この特長によりシーリング上に施工した場合、塗膜のひび割れを軽減することができます。

Point!

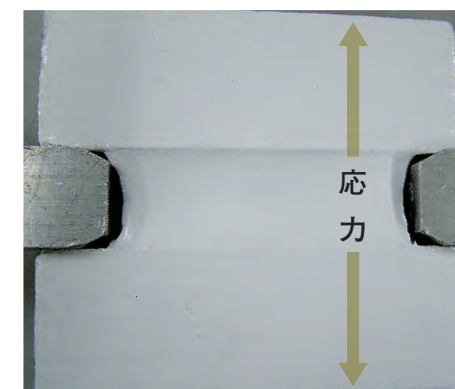
目地シーリングの多い窯業系サイディングやALCパネルなどを用いた建物の塗替えに最適です。

伸長時ひび割れ試験



従来の変性無機塗料

15%伸長時に、ひび割れが発生



スーパーセラソフィア

40%伸長時も、ひび割れが発生しない

※弊社シーリング材による試験

ダイヤスーパーセラソフィア 特長

様々な特長により塗替え時の美しさを永く保ちます。

特長
3

超低汚染性

親水性の高い無機の塗膜が汚染物質を寄せ付けず、
雨水で汚れを落とす特性を持ちます。

無機の塗膜により、親水性の向上（雨水で汚れが落ちやすくなる）と帯電性の低下（静電気を帯びにくくすることで埃を引き寄せにくくする）を実現しました。

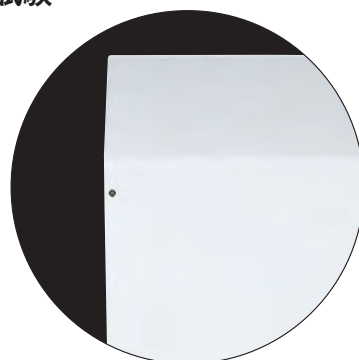
Point!

柔軟型の塗料でありながら従来の変性無機塗料と同レベルの超低汚染性を実現しました。

汚染性試験



フッ素樹脂塗料



スーパーセラソフィア

特長
5

防カビ・防藻性

カビや藻の発生の原因となる汚染物質の付着を抑制します。

特長
4

透湿性

各種上塗材の中では最高クラスの透湿性を発揮します。

透湿性の高い塗料は、雨などの水滴は通さずに、水蒸気を逃がす性質を持ちます。
この性質により、熱膨れの原因となる水分を効率的に排出することができます。

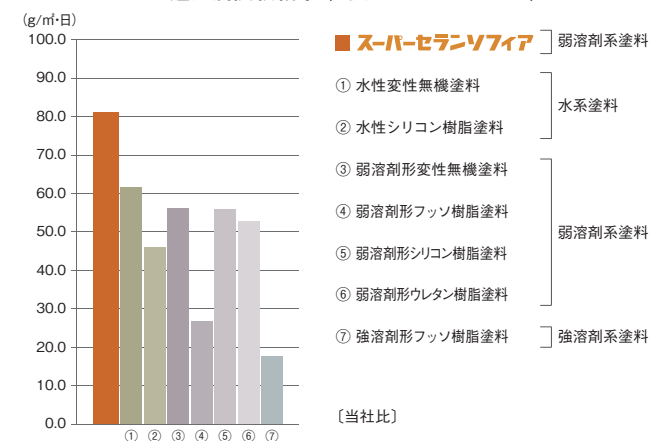
※ 水滴 … 直径100～300μm 水蒸気 … 直径0.0004μm

Point!

窯業系サイディングやALCパネルなどの蓄熱性の高い部材を用いた建物の塗替えに最適です。



JIS Z 0208 透湿度試験結果（A法：25℃90%による）



特長
6

旧塗膜適性

弱溶剤タイプのため幅広い下地適性を発揮します。さらに特長のある下地調整材を組合せることにより新たな機能を追加できます。

さらに

『下地調整材』との組み合わせで
新たな **機能を追加** できます。

部材：**ALC** の塗替えにおすすめの工法

無機透湿微弾性フィラー
『ダイヤセラ・トーチツプラス』との組み合わせ

促進機能

透湿性

部材：**RC・木造** の塗替えにおすすめの工法

防水形弾性フィラー
『ダイヤアクレスフィラーダンセイ』との組み合わせ

追加機能

防水性

ダイヤモンドセラソフィア 標準工程

塗替え・平滑仕様

工程		製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具
						工程内	工程間	
1	素地調整	①劣化した既存塗膜は電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。 ②既存塗膜のチョーキング、ほこり、汚れ等を高圧水洗浄等で除去・清掃して下さい。						
2	上塗材	ダイヤスーパーセラソフィア A液 B液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー エアレス	14kg 2kg 0～2.0 ^{リットル} 2.0～4.0 ^{リットル}	0.2～0.3kg／㎡ 53～80㎡／セット	2	5時間以上 3日以内	—	中毛ローラー 刷毛、エアレス

※既存塗膜の劣化や、下地の吸い込みが著しい場合は下塗材（ダイヤガンコシーラーマイルド）をご使用下さい。
※間隔時間は、温度23℃、湿度50%の場合です。冬期、夏期では、温度、湿度によって間隔時間にかなりの差異がありますので注意して下さい。
※所要量は、下地の形状・状態により変動します。 ※既存塗膜がフッ素樹脂塗料、シリコン樹脂塗料、無機塗料や光触媒の場合は別途お問い合わせ下さい。

塗替え仕様（窯業系サイディング専用：SPR工法）

工程		製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具
						工程内	工程間	
1	素地調整	①劣化した既存塗膜は電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。 ②既存塗膜のチョーキング、ほこり、汚れ等を高圧水洗浄等で除去・清掃して下さい。						
2	下塗材	ダイヤSPRカラープライマー 主 剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	7kg 1kg 0～1.0 ^{リットル}	0.10～0.15kg／㎡ 54～80㎡／セット	1	—	3時間～5日	中毛ローラー、刷毛、 エアレスユニット、 スプレーガン
3	上塗材	ダイヤスーパーセラソフィア A液 B液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー エアレス	14kg 2kg 0～2.0 ^{リットル} 2.0～4.0 ^{リットル}	0.10～0.15kg／㎡ 106～160㎡／セット	1	—	—	中毛ローラー 刷毛、エアレス

※間隔時間は、温度23℃、湿度50%の場合です。冬期、夏期では、温度、湿度によって間隔時間にかなりの差異がありますので注意して下さい。
※所要量は、下地の形状・状態により変動します。 ※既存塗膜がフッ素樹脂塗料、シリコン樹脂塗料、無機塗料や光触媒の場合は別途お問い合わせ下さい。

鉄部・塗装鋼鉄の塗替え仕様

工程		製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具
						工程内	工程間	
1	素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC-SP3,ISO St3)程度まで除錆して下さい。 旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい(詳細、仕様書参照)。 ②こけ、ごみ等付着物、汚れ、劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。 ③旧塗膜の活膜部については、チョーキング・塩類等の付着物を高圧洗浄、サンドペーパー掛け等の方法で除去・清掃して下さい。						
2	発錆部 補修塗り	ダイヤヒスイエボサビ#200A 基 剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	14.4kg 1.6kg 0～2.0 ^{リットル}	—	—	—	4時間～7日	中毛ローラー 刷毛
3	下塗材	ダイヤヒスイエボサビ#200A 基 剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	14.4kg 1.6kg 0～2.0 ^{リットル}	0.16kg／㎡ 100㎡／セット	1	—	4時間～7日	中毛ローラー 刷毛
4	上塗材	ダイヤスーパーセラソフィア A液 B液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー エアレス	14kg 2kg 0～2.0 ^{リットル} 2.0～4.0 ^{リットル}	0.2～0.3kg／㎡ 53～80㎡／セット	2	5時間以上 3日以内	—	中毛ローラー 刷毛、エアレス

※SPPC：Steel Structures Painting Council（アメリカ鉄鋼造物塗装審議会） ISO：International Standard（ISO 8501-1:1998）
※間隔時間は、温度23℃、湿度50%の場合です。冬期、夏期では、温度、湿度によって間隔時間にかなりの差異がありますので注意して下さい。
※所要量は、下地の形状・状態により変動します。 ※既存塗膜がフッ素樹脂塗料、シリコン樹脂塗料、無機塗料や光触媒の場合は別途お問い合わせ下さい。

可使時間

季節	気温	ダイヤSPRカラープライマー	ダイヤモンドセラソフィア
夏	25～35℃	2時間以内	3時間以内
春秋	15～25℃	4時間以内	5時間以内
冬	5～15℃	4時間以内	8時間以内

適用下地

●コンクリート面 ●モルタル面 ●ALC面
●窯業系サイディングボード面及び各種塗膜面

〔シリコン・フッ素樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。〕

塗替え仕様（ALC下地 推奨仕様）

工程	製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具	
					工程内	工程間		
1	素地調整	各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい。						
2	下塗材	ダイヤセラ・トーシツプラス 清 水	16kg 1.6～2.4 ^{リットル}	0.6～1.0kg／㎡ 16～27㎡／缶	2	5時間以上	16時間以上	中毛ローラー
	下塗材	ダイヤセラ・トーシツプラス 清 水	16kg 0.5～0.8 ^{リットル}	0.6～0.7kg／㎡ 22～26㎡／缶	1	—	16時間以上	多孔質ローラー
3	上塗材	ダイヤスーパーセラソフィア A液 B液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー エアレス	14kg 2kg 0～2.0 ^{リットル} 2.0～4.0 ^{リットル}	0.25～0.35kg／㎡ 46～64㎡／セット	2	5時間以上 3日以内	—	中毛ローラー 刷毛、エアレス

※乾燥時間は、標準状態（23℃、50％RH）での時間を示します。 ※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。
※シリコン、フッ素樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。
※既存塗膜の劣化が著しい場合やセメント系下地の場合は、ダイヤガンコシーラーマイルドまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。

塗替え仕様（コンクリート・モルタル下地 推奨仕様）

工程	製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具	
					工程内	工程間		
1	素地調整	各改修工事仕様に基ついて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行つて下さい。						
2	下塗材	ダイヤアクレスフィラーダンセイ 清 水	16kg 0.8～1.6 ^{リットル}	0.6～1.0kg／㎡ 16～27㎡／缶	2	5時間以上	16時間以上	中毛ローラー
	下塗材	ダイヤアクレスフィラーダンセイ 清 水	16kg 0.6～1.0 ^{リットル}	0.8～1.0kg／㎡ 16～20㎡／缶	1	—	16時間以上	多孔質ローラー
3	上塗材	ダイヤスーパーセラソフィア A液 B液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー エアレス	14kg 2kg 0～2.0 ^{リットル} 2.0～4.0 ^{リットル}	0.25～0.35kg／㎡ 46～64㎡／セット	2	5時間以上 3日以内	—	中毛ローラー 刷毛、エアレス

※乾燥時間は、標準状態（23℃、50％RH）での時間を示します。 ※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。
※シリコン、フッ素樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。
※既存塗膜の劣化が著しい場合やセメント系下地の場合は、ダイヤガンコシーラーマイルドまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
※「ダイヤアクレスフィラーダンセイ」には防水形複層塗材仕様がございます。別途お問い合わせ下さい。

施工・保管上の注意点

【塗装面の調整（新設）】

- ①素地に付着している塵、汚れ、油類、レタス等を完全に除去して下さい。
- ②セメント質下地は、表面の含水率10％以下（pH10以下）になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ③雨上がり後は、均一に乾くまで施工して下さい。
- ④PCパネル、現場打ちコンクリートの場合
1) 豆板、木コン、破損箇所、不陸などは、セメンシヤス#2000、セメンシヤス#2500等の下地調整材を使用し、補修して平滑にして下さい。
- 2) 表面が緻密でレタス層がある場合は、レタスを除去し、ダイヤシーラーエボをご使用下さい。
- ⑤ALCパネルの場合はダイヤカタオンフィラーを塗布して下さい。

【塗膜面の調整（改修）】

- ①屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分に点検し適切な処置をして下さい。
- ②使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、フリド等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
- ③各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理（ケレン、清掃、高圧水洗浄）などを行って下さい。

- ④脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。

- ⑤チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。

【材料の保管・管理】

- ①開缶した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ③下記の製品は危険物ですので、火気や熱源に十分注意して下さい。
ダイヤモンドセラソフィア、ダイヤシンナーN、ダイヤガンコシーラーマイルド、
ダイヤSPRカラープライマー、ダイヤヒスイエボサビ#200A
- ④気温5℃以下、降雨、降雪、強風および湿度85％以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）養生をして下さい。
- ⑤材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ⑥材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。
- ⑦乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと残が残りバリとなります。
- ⑧乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
- ⑨コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- ⑩下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ⑪施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラ等の原因となります。
- ⑫施工後4時間以内に降雨、降雪等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- ⑬本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
- ⑭希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
- ⑮常に粘着が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑯安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑰一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑱塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- ⑲フッ素や無機系などの難燃・難燃塗料がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄りの営業所へご相談下さい。

- ⑳可使時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- ㉑使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- ㉒濃色や原色に近い色の場合、強くすると色が取れる場合があります。
- ㉓下地の吸込みムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
- ㉔シーラーと上塗りを混合するとゲル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
- ㉕上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
- ㉖既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には高圧水洗浄後にダイヤシーラーエボまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
- ㉗材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ㉘小出し混合する場合は、混合比のずれが生じないように、必ず天秤・皿電子天秤等を用い、重量比の配合割合は厳守して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ㉙ダイヤスーパーセラソフィアを施工する場合は、A液、B液混合後15～20分程度熟成して下さい。色によってムラになる場合があります。
- ㉚施工後、塗膜が乾燥するまでに、降雨などにより水分の影響を受ける状態が継続した場合、低汚染機能が発現しないことがあります。乾燥までに降雨や積雪、結露が予想される場合は施工を避けて下さい。
- ㉛予想外の降雨などが発生しない塗膜面が濡れないよう対策を講じて下さい。
- ㉜ダイヤスーパーセラソフィアを施工する場合は、A液、B液混合後15～20分程度熟成して下さい。色によってムラになる場合があります。
- ㉝施工後、塗膜が乾燥するまでに、降雨などにより水分の影響を受ける状態が継続した場合、低汚染機能が発現しないことがあります。乾燥までに降雨や積雪、結露が予想される場合は施工を避けて下さい。
- ㉞雨掛りでない部位や斜壁、水切りが不十分な面や窓まわり及びその下側面などは、低汚染機能が発現しないことがあります。
- ㉟シーリング材などに含まれる可塑剤、煤煙や油類、サビ汁などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。
- ㊱上塗は塗布量を厳守し均一に施工して下さい。塗布量が少ない場合は低汚染機能が十分に発揮されません。
- ㊲塗布面の吸い込みが大きい場合は、下塗などにより吸い込みを少なくし、上塗が塗布面に吸い込まれないようにして下さい。表面に上塗材が十分に確保されていないと耐候性、低汚染機能が発揮されません。
- ㊳A液とB液は指定の割合で混合し、電動攪拌機を用い十分に混合（2分以上）して下さい。
- ㊴A液とB液の混合比率が不適切であったり、B液を混合しなかった場合は、低汚染機能が発現しません。
- ㊵タチアプに使用する場合は、上塗のA液、B液の缶を良く振り、沈降分離していないものを指定の割合で計量混合し、電動攪拌機を用い同様に混合し使用して下さい。
- ㊶A液とB液の混合後は可使時間以内に使用して下さい。可使時間をを超えて使用した場合、作業性や仕上り、汚染機能が発揮しない場合があります。

【安全衛生上の注意】

- ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ②取扱い後は、手洗い及びうがいをして十分に行って下さい。
- ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
- ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で5分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑧中身を使い切った後廃棄して下さい。
- ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とす。痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ⑩臭気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

【その他】

- ①その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。
- ②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認ください。
- ③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート（SDS）をご確認ください。